

高齢者をとりくむコミュニティの実態（鹿児島県笠沙町の事例）その3

—ひとり暮らし高齢者の人的交流と生活行動—

正会員○古川恵子²⁾同 友清貴和¹⁾

1. はじめに

前報に引き続き、過疎化、高齢化が進行した地方地域で自立した生活を送っている在宅高齢者の生活を支える要因を考察する。

2. 研究の目的と方法

前報^{1), 2)}では、1998年11月の調査結果をふまえて行った1999年7,8月の調査の結果から、笠沙町の6集落における、主として高齢者と、別居の子ども・親戚・友人との交流状況、買物等の外出行動、日常の助け合い等について検討した。その結果、地形的特性の違いを持つ6集落に以上の点における相違はみられなかった。そして、生活支援につながる近所づきあいが行われていることが明らかになった。

本報では、前報に続いて、生活扶助に関することが端的に表れやすいと考えられるひとり暮らしの高齢者世帯を中心に分析した。

一般的に心身の機能の低下から高齢者は行動範囲が狭まり、それに伴い近隣との交流も少なくなりがちと考えることができる。調査対象の集落は、地形的に急傾斜地であったり、バス停までの距離が遠かったりと、都市部と比較すると利便性や安全性については問題が大きく、高齢者にとっては厳しい生活環境であり、またひとり暮らしということで、日常の外出行動や地域での人的交流が一段と活発には行われにくいとも考えられるが、実際には居住年数が長く、自立した生活をおくっている。

そのように長期間住み続けている背景に何らかの相互扶助があるのではないかと考えられる。また、あるとすればそれらがどの程度なされているのかを明確にすることを目的とする。

3. 調査結果と分析

笠沙町は人口4,083人、高齢化率38.97%、25集落からなる。そのうちの6集落の121世帯を対象にした戸別訪問の聞き取り調査を行い、75世帯から回答を得た(回収率61.1%)、1999年7,8月のデータを用いた。

ひとり暮らし高齢者の生活を人的交流と日常生活行動から捉え、分析した。人的交流を、子ども・親戚・友人・それ以外の人とのつきあい、日常・非日常の助け

1)鹿児島大学教授・工博

2)鹿児島女子短期大学教授

合い、緊急時に頼れる人から、また日常の生活行動を友人付合い、買物、通院等の外出行動から分析した。

3-1. 回答者の属性

調査対象世帯75世帯中21世帯(28%)が単独世帯である。年齢は67歳から95歳までの高齢者で、調査した6集落それぞれに2名から6名いる。性別では、21人中2人が男性である。居住年数は、無回答の一人を除いて3年から77年までである。そのうち、居住年数の10年未満の2人は定年退職で福岡から戻ってきて3年の人と25年間大阪で生活の後戻ってきて4年の人である。他は約40年から77年である。単独世帯の76%余は後期高齢者が占める。(表1)。

表1 高齢単独世帯の年齢・居住年数、子ども

年齢(歳)	居住年数	回答者	性別	年齢(歳)	居住年数	子どもの年齢	最も近い子どもの居住地(※1)							緊急時に頼れる人		
							1	2	3	4	5	6	7			
40~64	0(0.0)	A-9	女	77	77	0										本人=親戚
65~74	5(23.8)	A-13	女	85	50	女1										近所の人
75以上	16(76.2)	B-2	女	76	20	0										無回答の友人
無回答	0(0.0)	B-6	女	73	45	男1										町内の息子
居住年数	世帯数	B-13	女	86	40	男3・女2										無回答の娘
0~9年	2(9.5)	B-14	女	80	50	男3・女3										無回答の友人
10~19年	1(4.7)	B-16	女	76	18	男3・女2										隣町の娘、近所の人
20~29年	1(4.7)	B-18	女	77	40	男1・女1										鹿児島市の娘
30~39年	0(0.0)	C-2	女	73	54	男2・女1										本人
40~49年	4(19.0)	C-5	女	77	4	女3										本人
50~59年	6(28.6)	C-6	女	76	54	男3・女3										本人
60~69年	1(4.7)	C-7	女	83	57	男1・女1										隣の娘
70~79年	5(23.8)	D-3	女	67	45	男3・女1										鹿児島市の息子
80~89年	0(0.0)	D-6	女	76	76	0										無回答の兄弟
無回答	1(4.7)	D-9	女	67	67	男1・女1										無回答の兄弟
世帯人数(全世帯)	E-3	女	95	-	男2・女1											本人
1人	21(28)	E-5	女	74	74	0										町内の娘
2人	32(42.7)	F-10	男	78	78	男2・女1										近所の友人
3人	15(20)	F-11	男	76	76	男4・女1										近所の友人
その他	7(9.3)	F-14	女	79	3	0										隣の親戚
		F-15	女	80	52	男2・女3										無回答の弟、本人

(※1): 1: 集落内; 2: 町内; 3: 隣接町; 4: 近隣の町; 5: 県内; 6: 県外; 7: 子どもなし

3-2. 人的交流

3-2.1. 高齢者と別居の子ども

子どもの居住地との関連でみると、21人中半数の12人は、子どもがいない(5人)、県外居住(2人)、近隣ではない県内居住(5人)であることから、日常的な手助けは期待できない。他は、同じ集落内(1人)や笠沙町(1人)、隣接町(大浦町)(2人)、近隣の市町(金峰町, 加世田市, 枕崎市)(5人)に子どもが居住している。同じ集落内に居住する娘は86歳の母に代わって買物に行き週に2回訪れ親の生活を支えている。また、親の近くの笠沙町の集落に居住する息子の場合は、薬をとりに行く、緊急の場合頼りにできるということであるが、普段の行き来はあまりない。隣接町(大浦町)

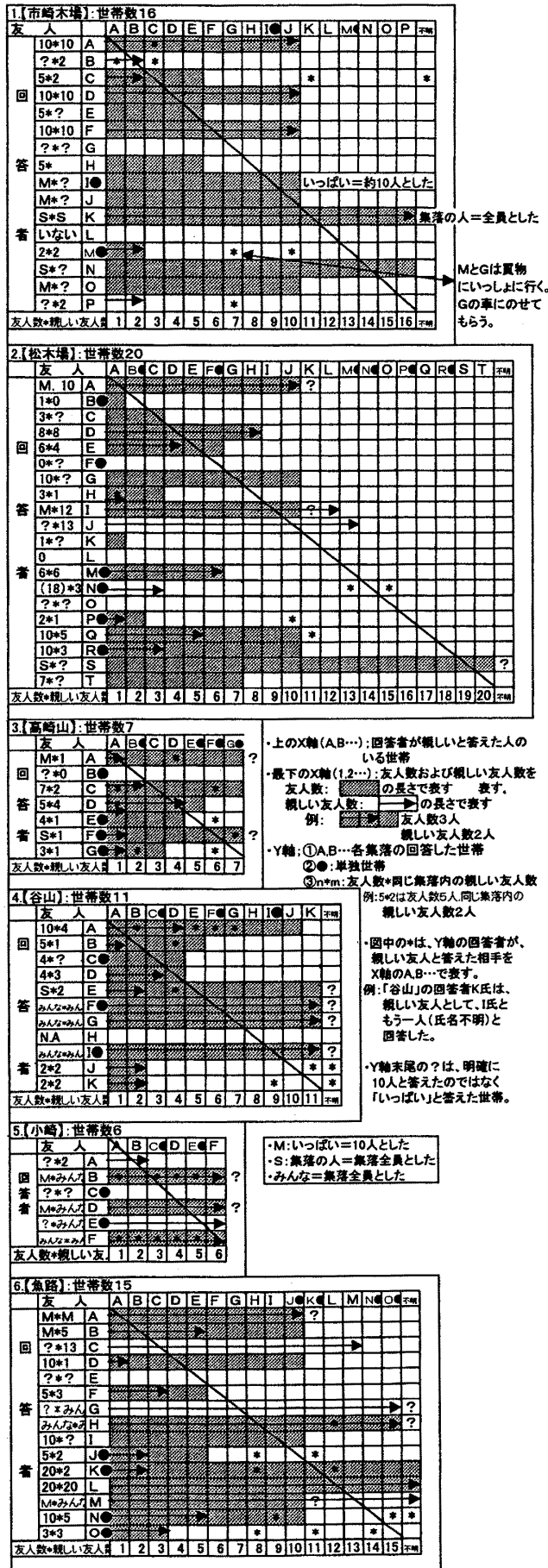


図1 集落別調査回答世帯の友人関係(6集落)

に子どもが居住する2人の場合でも子どもは月に2回訪れる程度で、買い物や通院に関係しない。近隣の市町(自動車で約1時間の距離)に居住する子どもは、それぞれ週に1回、月に1回、年に2回位訪れる程度で、日常の手助けはしていない。買物、その他の外出に子どもと行く人はいない。一人で行くか、友人、近所の人と行っている。車の場合は自分で運転するか近所の人、友達に乗せてもらっている。

つまり、ほとんどの人は子どもの日常的な物理的補助なしに生活している。緊急時に頼れる人として子どもと答えているのは16人中6人である。ただし、話をしたいときに電話で話しているし(9人)、毎日娘が電話をしてくれる人もいる。贈り物を送ったときや病気のときに電話をかけていることから、子どもが精神的な支えになっているのは明らかである。

同居を希望する人は16人中2人だけである。その理由を、心細いからと答えている。同居を希望しない理由は、一人が気楽、迷惑をかけたくない、世話になりたくないということである。

3-2.2. 親戚づきあい

親戚の居住地とつきあいの程度をみる。親戚とよく会っている人は21人中16人で、相手は兄弟姉妹、甥・姪等である。よく会っているという人の半数は同じ集落内に親戚が居住していて、毎日会っていると答えている。他の集落に居住する親戚が台風の後には畑を見に来たり、墓参りに来たときに会うという人もいる。また、集落内にいる妹と毎日お茶を飲み、夜は行ったり来たりして、月に1回は他の町の親戚を訪ねると言う人もいる。

3-2.3. 友人づきあい

友人数、集落内の親しい友人、友人との間柄、つきあいの場所と内容、行き来の方法、付き合いの頻度について調査した。友人数も集落内の親しい友人数も1人から5人、10人、20人、いっぱい、集落みんな、まで回答の幅は広い。図1にひとり暮らしの高齢者(回答者に●を付けたもの)を含む回答者全員の友人関係を示す。

ひとり暮らしの高齢者は全体的に友人や親しい友人がいるのが分る。親しい友人名を答えた人は10人おり、その友人数は1人から3人である。次に、最も親しい友人との間柄は、近所に住む人という答えが21人中19人と圧倒的に多く、次が幼なじみである。このことは、全世界帯でも同様で、近所に住む人は75世帯中59世帯、次が幼なじみで25世帯である。普段のつきあいの内容は、

世間話19人、お茶を飲む14人で、全世帯と異なるのは、それらの割合が高いことである。(全世帯では、世間話29世帯、お茶を飲む19世帯である。)

つきあいの場所はお互いの家で、よく行き来している。行き来の方法は、徒歩が最も多く16人で、次は自動車の4人である。全世帯でも徒歩がいちばん多く、自動車が次に多いが、独居高齢者より割合が大きい。自動車と答えた人の4人のうち1人は自分で運転だが、1人は友達、2人は近所の人が乗せてくれるとしている。あと、バス利用者が2人いる。友人づきあいの頻度は、毎日、2,3回/週から1回/月までいろいろだが、毎日が多い。

同じ集落の友人以外に親しい友人がいると答えた人は8人おり、その居住地は4km~20km離れた所等で、自動車で行くなどしている。行動範囲の広い人がある。

3-2.4. 友人、家族、親戚以外の人とのつきあい

家族や親戚、友人以外にどのような人とよく会うかということでは、郵便配達の人が最も多く13人、次がデイサービスの職員7人、集落の主事(町内会長の役割)、移動販売の人、店の人は同じ数で6人である。医師、移動販売の人がこれに続く。頻度は毎日から2,3回/週が多い。移動販売は町内の他の集落である野間池から魚を扱う車と、近隣の加世田市のスーパーからのものがある。買物だけでなく、情報交換のできる重要な要素といえよう。なお、郵便配達の人が以前ほど話をしなくなったという人もいた。(表2)。

3-2.5. 高齢者と助け合い

表3に示すように、ひとり暮らしの場合、元気か声をかけるよりもかけられる方が多い。ひとり暮らしであっても、庭や畑でできた花や野菜をあげることも、いただきもののおすそ分けも、他の人たちとほぼ同じように行っている。

非日常のこととしては、台風後の後片付けや住宅の点検、修理等をしてもらう人が7~9人いて、他の人よりも目立って多い。手伝ってくれる人は、近くに住む娘や息子、近所の人や隣人、兄弟姉妹、近所の甥等である。

3-2.6. 高齢者と緊急時に頼りになる人

子どもがいないか、近くに住んでいないという人が緊急時にあてになる人があるかどうかは重要な問題であるが、回答では、隣人、近所の人、近くの娘や息子、兄弟、親戚があげられている。これまでにも、台風の後片付けをしてくれたり、日ごろ元気か声をかけ

てくれたり、妻が倒れたときに子ども達に連絡してくれた等、助けてくれた人達である。(表1)。

表2 高齢単独世帯と調査対象全世帯の友人・外出・買物に関する比較

1. 移動手段		外出		友人づきあい		普段の交通手段		
一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	
徒歩	20	10	徒歩	25	徒歩	13	徒歩	11
自転車	11	1	自転車	5	自転車	7	自転車	8
バイク	5	0	バイク	6	バイク	6	バイク	5
自動車	9	3	自動車	4	自動車	19	自動車	19
バス	19	2	バス	22	バス	10	バス	35
タクシー	0	1	タクシー	1	タクシー	0	タクシー	1
その他	0	2	その他	2	その他	0	その他	0
無回答	5	1	無回答	13	無回答	14	無回答	2
2. 行動範囲								
買物の場所				友人づきあいの場所				
一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	
10 町内	31	2	無回答	25	1	友達の家	1	
6 町外	34	2	無回答	2	2	公園	2	
8 移動販売	3	0	無回答	0	2	元気で仕事	2	
4 買い物おまけ	10	1	無回答	0	2	ご主人	2	
0 無回答	0	0	無回答	0	3	子ども	3	
3. 人間関係								
買い物				友人と会う場所				
一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	
*2 3 他人が行く	19	7	友達の家	15	2	デパート	2	
7 配達を頼む	13	0	畑	24	2	魚つり	4	
3 その他	0	0	店	35	2	人の世話	2	
0 無回答	0	0	無回答	0	3	世間話	5	
4. 人間関係								
買い物				友人と会う場所				
一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	
*1 8 他人が行く	21	0	銀行	0	0	お寺	1	
7 配達を頼む	13	0	職場	1	20	喫茶店	1	
3 その他	0	0	お寺	14	12	料理	1	
0 無回答	0	0	無回答	0	0	書道	1	
5. 人間関係								
買い物				友人と会う場所				
一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	
*2 3 他人が行く	19	0	銀行	0	0	お寺	1	
7 配達を頼む	13	0	職場	1	20	喫茶店	1	
3 その他	0	0	お寺	14	12	料理	1	
0 無回答	0	0	無回答	0	0	書道	1	
6. 人間関係								
買い物				友人と会う場所				
一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	
*1 8 他人が行く	21	0	銀行	0	0	お寺	1	
7 配達を頼む	13	0	職場	1	20	喫茶店	1	
3 その他	0	0	お寺	14	12	料理	1	
0 無回答	0	0	無回答	0	0	書道	1	
7. 人間関係								
買い物				友人と会う場所				
一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	
*1 8 他人が行く	21	0	銀行	0	0	お寺	1	
7 配達を頼む	13	0	職場	1	20	喫茶店	1	
3 その他	0	0	お寺	14	12	料理	1	
0 無回答	0	0	無回答	0	0	書道	1	
8. 人間関係								
買い物				友人と会う場所				
一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	
*1 8 他人が行く	21	0	銀行	0	0	お寺	1	
7 配達を頼む	13	0	職場	1	20	喫茶店	1	
3 その他	0	0	お寺	14	12	料理	1	
0 無回答	0	0	無回答	0	0	書道	1	
9. 人間関係								
買い物				友人と会う場所				
一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	
*1 8 他人が行く	21	0	銀行	0	0	お寺	1	
7 配達を頼む	13	0	職場	1	20	喫茶店	1	
3 その他	0	0	お寺	14	12	料理	1	
0 無回答	0	0	無回答	0	0	書道	1	
10. 人間関係								
買い物				友人と会う場所				
一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	
*1 8 他人が行く	21	0	銀行	0	0	お寺	1	
7 配達を頼む	13	0	職場	1	20	喫茶店	1	
3 その他	0	0	お寺	14	12	料理	1	
0 無回答	0	0	無回答	0	0	書道	1	
11. 人間関係								
買い物				友人と会う場所				
一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	
*1 8 他人が行く	21	0	銀行	0	0	お寺	1	
7 配達を頼む	13	0	職場	1	20	喫茶店	1	
3 その他	0	0	お寺	14	12	料理	1	
0 無回答	0	0	無回答	0	0	書道	1	
12. 人間関係								
買い物				友人と会う場所				
一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	
*1 8 他人が行く	21	0	銀行	0	0	お寺	1	
7 配達を頼む	13	0	職場	1	20	喫茶店	1	
3 その他	0	0	お寺	14	12	料理	1	
0 無回答	0	0	無回答	0	0	書道	1	
13. 人間関係								
買い物				友人と会う場所				
一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	
*1 8 他人が行く	21	0	銀行	0	0	お寺	1	
7 配達を頼む	13	0	職場	1	20	喫茶店	1	
3 その他	0	0	お寺	14	12	料理	1	
0 無回答	0	0	無回答	0	0	書道	1	
14. 人間関係								
買い物				友人と会う場所				
一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	
*1 8 他人が行く	21	0	銀行	0	0	お寺	1	
7 配達を頼む	13	0	職場	1	20	喫茶店	1	
3 その他	0	0	お寺	14	12	料理	1	
0 無回答	0	0	無回答	0	0	書道	1	
15. 人間関係								
買い物				友人と会う場所				
一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	
*1 8 他人が行く	21	0	銀行	0	0	お寺	1	
7 配達を頼む	13	0	職場	1	20	喫茶店	1	
3 その他	0	0	お寺	14	12	料理	1	
0 無回答	0	0	無回答	0	0	書道	1	
16. 人間関係								
買い物				友人と会う場所				
一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	
*1 8 他人が行く	21	0	銀行	0	0	お寺	1	
7 配達を頼む	13	0	職場	1	20	喫茶店	1	
3 その他	0	0	お寺	14	12	料理	1	
0 無回答	0	0	無回答	0	0	書道	1	
17. 人間関係								
買い物				友人と会う場所				
一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	
*1 8 他人が行く	21	0	銀行	0	0	お寺	1	
7 配達を頼む	13	0	職場	1	20	喫茶店	1	
3 その他	0	0	お寺	14	12	料理	1	
0 無回答	0	0	無回答	0	0	書道	1	
18. 人間関係								
買い物				友人と会う場所				
一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	
*1 8 他人が行く	21	0	銀行	0	0	お寺	1	
7 配達を頼む	13	0	職場	1	20	喫茶店	1	
3 その他	0	0	お寺	14	12	料理	1	
0 無回答	0	0	無回答	0	0	書道	1	
19. 人間関係								
買い物				友人と会う場所				
一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	
*1 8 他人が行く	21	0	銀行	0	0	お寺	1	
7 配達を頼む	13	0	職場	1	20	喫茶店	1	
3 その他	0	0	お寺	14	12	料理	1	
0 無回答	0	0	無回答	0	0	書道	1	
20. 人間関係								
買い物				友人と会う場所				
一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	
*1 8 他人が行く	21	0	銀行	0	0	お寺	1	
7 配達を頼む	13	0	職場	1	20	喫茶店	1	
3 その他	0	0	お寺	14	12	料理	1	
0 無回答	0	0	無回答	0	0	書道	1	
21. 人間関係								
買い物				友人と会う場所				
一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	一人暮らし	全世帯	
*1 8 他人が行く	21	0	銀行	0	0	お寺	1	
7 配達を頼む	13	0	職場	1	20	喫茶店	1	
3 その他	0	0	お寺	14	12	料理	1	
0 無回答	0	0	無回答	0	0	書道	1	

表3 高齢単独世帯と非単独世帯の助け合いの内容

1. 日常の助け合いの内容	全体			単独世帯			非単独世帯		
	計	人	%	計	人	%	計	人	%
1. 元気か、声をかける	66	18	(27)	50	19	(38)	67	19	(28)
2. (手伝いをしてあげようと思って)用事がないか	34	8	(24)	26	4	(15)	34	10	(29)
3. 手伝いをしてあげようと思って用事がないか	46	9	(20)	36	6	(17)	46	9	(20)
4. 町内会の係りを代わってあげる	6	2	(33)	4	1	(25)	6	2	(33)
5. 庭や畑でできた花や野菜をあげる	61	16	(26)	46	14	(30)	60	14	(23)
6. もらった物のおすそ分け	55	15	(27)	40	13	(33)	54	12	(22)
7. おかずのおすそ分け	27	8	(30)	19	3	(16)	28	6	(21)
8. 食事をつくってあげる	11	4	(36)	7	2	(29)	6	2	(33)
9. 清掃掃除してあげる	22	4	(18)	18	2	(11)	18	2	(11)
10. 道路掃除してあげる	20	6	(30)	14	2	(14)	20	4	(20)
11. こみ捨てに行つてあげる	6	1	(17)	5	1	(20)	6	1	(17)
12. 草取りしてあげる	22	5	(23)	17	3	(18)	21	5	(24)
13. ものを運ぶ	14	2	(14)	12	2	(17)	15	2	(13)
14. 話し相手になる	60	12	(20)	48	13	(27)	54	13	(24)
15. 相談相手になる	42	5	(12)	33	3	(9)	43	11	(26)
16. 仕事の手伝い	11	2	(18)	9	1	(11)	11	2	(18)
17. 買い物をしてきてあげる	20	4	(20)	16	4	(25)	17	4	(24)
18. 郵便物をたてあげる	3	3	(100)	0	0	(0)	3	3	(100)
19. お菓子(花を供える等)をしてあげる	18	3	(17)	15	2	(13)	18	3	(17)
20. お菓子の掃除してあげる	17	2	(12)	15	2	(13)	14	2	(14)
21. 病院に行つて、薬をとってきてあげる	15	1	(7)	14	1	(7)	10	1	(10)
2. 非日常の助け合い									
1. 台風時の避難	7	1	(14)	6	1	(17)	6	1	(17)

買物や病院(13人)、畑、友達の家に出かけている。バスで出かける人がもっとも多く14人で、次が徒歩で10人、自動車3人いる。普段の移動手段はバスが最も多く16人、次いで徒歩13人である。自動車を利用する人は5人である。(表2)。

3-3.2 病院

通院状況については、1週間から2週間に1回通院する人が半数、1ヶ月か2ヶ月に1回の人1/4いる。通院先は、バスで1時間の公立病院や町役場のある地区にある町内唯一の民間病院等である。(医療施設は町内には診療所が2カ所と民間1ヶ所である。)

3-3.3 買物

買い物には病院と同様、多くのひとり暮らしの高齢者が出かける。買い物に行く方法、買物の場所、買い物に行く仲間について検討した。方法としては全世帯では自動車が最も多いが、ひとり暮らしの高齢者は徒歩、バスで行く人が多く8人、次いで自動車7人である。次に買い物に自分ひとりで行く人は12人、集落の人と連れ立っていく人が8人いる。他の人が行くのが3人でそのうち2人は娘が行く。また表2でわかるように、配達を頼む人が7人いて、それには農協が含まれている。その他の3人は町内外の移動販売車の利用者である。移動販売は、店舗のない調査対象集落全部に必須のもので、農協の注文配達と並んで生活に不可欠のものであることが表から伺える。なお、町外に買い物に行く人が6人いるが、頻度などは不明である。自動車で約30分から1時間の町などがその行き先である。

3-3. 生きがい

畑作りをあげた人が半数、花づくりまで入れると約13人になる。全世帯でも半数は畑作りである。デパートと子どもが続く。外出先に畑と答えた人数は友人宅と同じであるが、多くは家の前や徒歩ですぐの所にある。8月の調査日の前日1日間の生活時間を調べた結果でも14人は畑、庭で作業をしていた。畑や庭は生活上たいじな場所といえる。

4. まとめ

子どもがいなかったり、遠くに居住していることから日常的な生活の支援が子どもに期待できない人が過半数いる。町内に居住していても、事例にあるように必ずしも普段の支援があるとは限らないし、同じ集落に住む娘が、週に2回買物をして来てくれるという例もあるが1件だけである。隣町に居住していても親元に来るのは月に2回程度で、日常の買物や病院通いに関

係していない。

しかし、ひとり暮らしの高齢者は後期の人が非常に多く、居住年数が長い。そしてそのことが、友人は、幼なじみや近所の人というのが圧倒的に多いということに関連しているといえよう。従って、子どもが老親を支援できない一方では、長年同じ地域で暮らしてきた幼なじみや近所の友人、親戚が身近にいて、お互いに行き来してお茶を飲んだり世間話をしたり、連れ立って買い物や病院に行く、あるいは自動車に乗せてもらうなど相互に支えているといえる状況が見られ、補完されている。また、集落維持のための水源の管理、道路の清掃、海水浴に備えて海岸の清掃、共同納骨堂の管理、毎月最低1回、血圧測定も行なわれる公民館での集まり等、奉仕活動・地域活動の集団活動への参加という結びつきが背景にある。

調査対象集落は急傾斜地、山麓地、平坦地に分類される。いずれにも空き地(=広場)がある。急傾斜地は、自動車を家の前まで入れることは不可能な地形なので、空き地に面する車庫に停める。数軒分の新聞の配達場所になっている所もある。また、一般的に店舗は地域の人々をつなぐ機能を持っているが、店舗のない小集落では、重要な役割を移動販売車と注文配達制が担っている。空き地はその移動販売車の駐車場でもあり、日用品の買い物と同時に集落外の人との話ができ、買物をする者同士の情報交換が行われるなど、コミュニティの場として有効に使われている。他の地域でも公民館の横に空地がありゴミ収集所や廃品回収の場に使われ、人々が顔を合わせる場所になっている。空き地は、これらの地域の特にひとり暮らしの高齢者には生活基盤のひとつといえるのではないか。あるいはコミュニティの生活の拠点といえるのではないか。そして、生きがいは畑仕事という人が多いことから、畑も欠くべからざるもののひとつといえよう。

註

- 1) 櫻井、友清、古川：高齢者をとりまくコミュニティの実態(鹿児島県笠沙町の事例)その2 / 日本建築学会九州支部研究報告 第39号 2000.3
- 2) 古川、友清：高齢者をとりまくコミュニティの実態(鹿児島県笠沙町の事例)その3 - 日常の生活行動に関する集落間の相違 - / 日本建築学会大会学術講演梗概集 2000.9

参考文献

- 1) 斎藤芳徳、外山義：高齢者の生活環境と住環境の評価に関する考察 / 日本建築学会計画系論文集 第533号 2000.7
- 2) 金子 勇：都市高齢社会と地域福祉 / ミネルヴァ書房 1996
- 3) 前田尚子：老年期の友人関係-別居子関係との比較検討 / 社会老年学 28, 1988